

会議概要

【開催概要】

名 称 2014年度 第1回新潟市政策改革本部会議
日 時 2014年5月22日（木） 午後2時から
会 場 市役所本館5階 全員協議会室
出席者 本部長（市長）、副本部長（副市長）、本部員（庁議構成員など）

【会議概要】

今年度のプロジェクトについて

（1）超高齢化時代に向けた医療・介護連携と市役所の役割

- ・2013年度に提言された都市政策研究所の調査・研究より、健康寿命の延伸には介護と医療の連携が重要であることがわかった。今年度は医療側に軸足を置き、より実践的な分析・評価を行う。
- ・市民の健康寿命の延伸、医療の持続可能性確保、財政負担の適正化という目標を達成のため、以下の3つのテーマについて取り組んで行く。
 - 1 医療・介護の連携体制づくり（医療関係者と介護関係者との連携の強化）
 - 2 地域健康度の見える化（医療データなどを分析して地域特性を把握）
 - 3 疾病リスクの見える化（介護要因となる疾病などを分析して把握）
- ・推進体制として、福祉部長をリーダーとするタスクフォースを設置し、実践的な分析・評価を進めていく。

（2）利用者起点に立った各区の複合施設のあり方

- ・2013年度に、都市政策研究所では「図書館のサービス検証」を実施した。
- ・図書館の8割は複合施設内に存在している。
- ・同調査の結果から、複合施設では、建物内外の案内看板の不備・不足や、施設管理の調整の難しさなど、施設全体のマネジメントがされていないことが分かった。
- ・そこで、利用者起点に立った分析・評価を行い、複合施設におけるマネジメントや機能配置はどうあるべきかについて、検証していく。
- ・その手法として、庁舎面積が区役所中最大であり、行政窓口や図書館など7つの機能と商業テナントフロアを有する「東区役所」においてケーススタディを行う。

(3) スマホ, タブレット時代の行政サービスのあり方 (m-ガバメント戦略)

- いまどき、どこでもスマートフォンで簡単に操作が可能になった。
(いつ、どこでも、簡単に)
- スマートフォンの普及は、世帯保有率は5割超え、スマホ・タブレット時代が到来した。
- 先進都市事例紹介①「ごみ分別アプリ」(横浜市)、②「防災アプリ」(杉並区)
- 現在、新潟市がインターネットでサービスを提供しているシステムは、パソコン対応が中心。今後は、携帯・スマホでの行政サービスでの活用が必要である。
- 「m (モバイル) -ガバメント」実現に向け、庁内横断的チームを設置し、検討を進めていく。